



文章中の氏名・画像等はHP掲載にあたり、省略・加工してあります。ご了承ください。

★ 今年もよろしくお願ひいたします。

いよいよ2024年（令和6年）がスタートいたしました。
生徒の皆さん、そして保護者の皆様、地域の皆様、
あけましておめでとうございます。生徒の皆さんは、令和5年もたくさん
の行事で活躍する姿を見ることができました。
また、保護者、地域の皆様におかれましては、突然のお願いにも、
ご理解とご協力をたくさんいただき、本当にありがとうございました。
新年を迎え、職員一同、未来ある子どもたちのために、全力で取り組
んで参りますので、今後とも引き続き、ご支援いただきますようよろ
しくお願ひいたします。

【12月にPTAの皆様と作成した門松です。講師の森 正明様ありがとうございました。→】



★ 校内駅伝・ロードレース大会

12月21日（木）に校内駅伝・ロードレース大会が開催されました。当日、応援に
来ていただいた保護者の皆様、ありがとうございました。前半のロードレース大会は、
男子2.4km、女子1.5kmのレースでした。保健体育の時間に練習を重ね、自分なりの
目標タイムを設定して臨んだ本番、沿道の声援を受けながら、それぞれのベストタイ
ムを目指して走りました。みんなの真剣な表情が周囲の人を感動させました。

学級の代表8名が襷（たすき）をつないだ駅伝大会、周囲の応援にも熱が入り、そ
の声を聞いた選手たちも、思いをつなぎながら全力で走りました。抜きつ抜かれつの
好レースはとても見応えがあり、代表選手の強い思いがひしひしと伝わってきました。

駅伝を制したのは3年1組、他のクラスも、それに食らいつくようにゴールに飛び
込んできました。実力伯仲のとてもいい大会となりました。

一人一人の目標に向かって頑張る姿、クラス一丸となって競技や応援に熱中する姿、
高原中生の底力を感じ、頼もしく、そして今後の頑張りが楽しみになった1日でした。

ロードレース大会の上位者、駅伝の結果については以下のとおりです。

【ロードレースの部】

- <男子> 1位 ○-○ ○○○○○さん
2位 ○-○ ○○○○○さん
3位 ○-○ ○○○○○さん
- <女子> 1位 ○-○ ○○○○○さん
2位 ○-○ ○○○○○さん
3位 ○-○ ○○○○○さん



【駅伝の部】

- <総合> 優勝 3年1組
準優勝 1年2組
第3位 3年2組



<区間賞> 男子2.2km、女子1.3km

- 1区 ○-○ ○○○○○さん 9分27秒
2区 ○-○ ○○○○○さん 7分21秒
3区 ○-○ ○○○○○さん 7分15秒
4区 ○-○ ○○○○○さん 9分40秒
5区 ○-○ ○○○○○さん 9分44秒
6区 ○-○ ○○○○○さん 7分17秒
7区 ○-○ ○○○○○さん 6分58秒
8区 ○-○ ○○○○○さん 9分29秒



おめでとうございます！

★ 受験がんばれ！「合格うどん」

駅伝・ロードレース大会の日の午後、3年生に向けて、3年保護者の皆様から「合格うどん」の振る舞いがありました。いよいよ今月から本格的に始まる高校入試への弾みを付けてほしいと、20名以上の保護者が集まり、お昼から準備をされました。

うどんには「合格」の文字が刻まれた「合格かまぼこ」に、〇〇〇さんのお父さん（〇〇さま）が「合格祈願」と全生徒分到手書きしてくださった「お箸入れ」に受験生達もびっくり。たくさんの想いと御利益が詰まった合格うどん、生徒の皆さんもこれでパワーを付けて、これから向かう壁にしっかり向き合ってくれることなのでしょう。あとは、皆さんがやる気を見せる番です。本番までわずかですが、最高の準備をしてください。保護者の皆様、本当にありがとうございました。



心のこもった合格うどん!!



★ 2つの「衝撃」に思う（能登半島地震・航空機事故）

元日から連続で衝撃の報道が入りました。石川県の能登半島を中心に震度7の地震が起こり、建物の倒壊や津波、火災により多くの方々が亡くなりました。避難所で過ごす様子が報道され、現在も見つからない方々が大勢いらっしゃいます。

また、羽田空港では、地震の被災地へ向かおうとしていた海上保安庁の飛行機と旅客機が衝突するという事故が起きました。海上保安庁の乗員5名が亡くなり、旅客機の乗客乗員は奇跡的に全員脱出することができました。

まずは、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、現在も被災して厳しい生活を強いられている皆様に心からお見舞い申し上げます。

冬休み期間中の悲しいニュースに中学生の皆さんも、いろいろと考えることがあったのではないかと思います。私は地震直後のTVのアナウンサーが避難を呼びかけるときの語気の強い、必死な様子がとても印象的でした。これは、2011年の東日本大震災のとき「もっと必死に呼びかけていれば、多くの人々が避難し、命が救えたのではないか」というTV局各社が検討を重ね、強い口調での呼びかけをするよう決められたのだそうです。また、全員が無事に脱出した旅客機も客室乗務員が満員の状態からの脱出訓練を毎年行っており、その訓練の成果が本番で発揮されたといえます。

突然起きる災害や事故。頭ではわかっている、いざその場面に出会った時、自分は適切な行動ができるかどうかとても不安です。できるだけ落ち着いて行動できるように、普段からの備えをしておかなければならないと、改めて考えさせられました。

生徒の皆さんには、「当たり前な日常を過ごすことができている幸せを感じる」とこと、「今の自分にできることは何か考える」ことを伝えました。私たちができるとは小さいかもしれませんが、自分たちがやるべきことを全力で行うことが大切です。

ぜひ、ご家庭でも日頃の備えについて話し合い、被災地で復興に向けてがんばっている方々に思いを馳せていただきたいと思います。

☆ 今後の主な行事のお知らせ(1・2月)

〇17日(水) 新入生説明会

〇24日(水)、25日(木) 私立高校入試

〇26日(金) 新燃岳を考える日

小中合同引渡訓練、リフレッシュデー

〇2月6日(火) 学校保健委員会

〇2月7日(水) 県立高校推薦入試

〇2月14日(水)、15日(木)、16日(金)

定期テスト(3年生は2日間)

〇2月21日(水) 参観日・2年立志式